

歴史のおもかげを残す“メモリアルパーク” いしかわ四高記念公園 [地区公園]

公園の概要

- 所 在 地 金沢市広坂2丁目
- 開 設 面 積 3.3ha
- 問い合わせ先 指定管理者:植宗・吉村グループ
TEL.(076)231-6859
金沢城・兼六園管理事務所
TEL.(076)234-3800

主な施設

広場、休養広場、カスケード、
休憩所、石川四高記念文化交流館

交 通

JR 金沢駅より北鉄バス「香林坊」下車徒歩3分



◀カスケード

四季を彩るアメリカカブウの並木道

この公園の東側を隣接して走る道路は、通称「アメリカカブウ通り」と呼ばれています。この道には両側にアメリカカブウが植えられており、四季折々の姿を私たちに見せてくれます。昭和44年に植えられた約40本の木は、今では樹高約20mにも伸びており、春は新緑が萌え、夏には緑のトンネルが木陰をつくります。紅や黄色に採られる秋には夜にライトアップが行われ、都心の中でひとときの憩いを求めて散策する人が後をたちません。

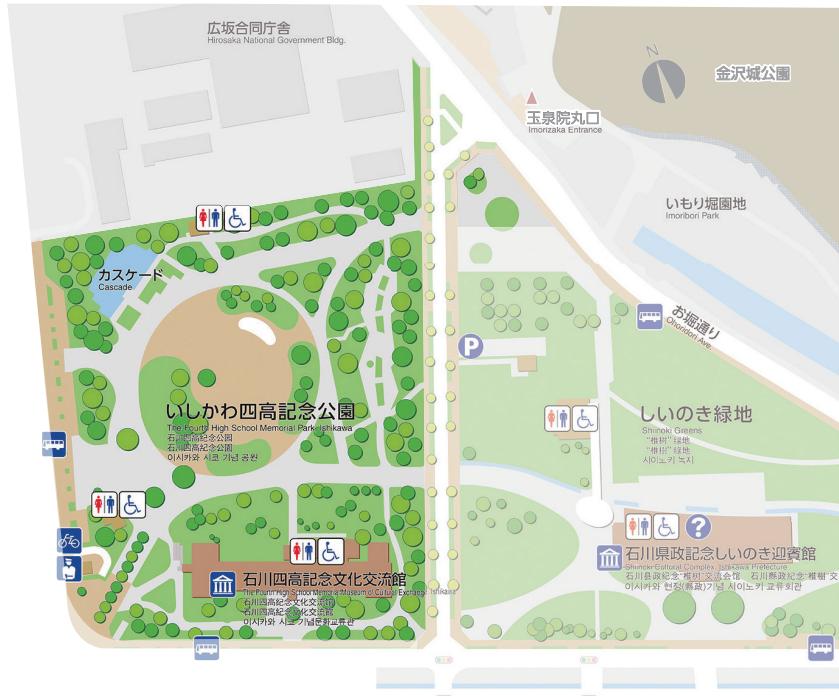


いしかわ四高記念公園

この公園は、もとは加賀藩が文政5年(1822)に学問所を置いて以来、長い間学問の場所でした。特に明治20年、第四高等学校が設置されてからは「四高」として市民に親しまれてきたところです。

昭和38年の校舎移転に伴い、その跡地を金沢の都心にふさわしい公園として整備し、昭和43年に一般に開放されました。長らく都心の緑のオアシス、県民の憩いの広場として利用されましたが、平成13年に開園した金沢城公園や平成15年の県庁移転による跡地の整備など、周辺施設の整備が進められることから、バリアフリーや災害時の避難地利用等、中心商業地に隣接する都市公園として多目的に活用するため、順次、老朽化した公園全体のリニューアルを行い、平成26年に整備が完了しました。

名称もそれまでの「中央公園」から「いしかわ四高記念公園」と改め、隣接する「しいのき緑地」とともに6haを超える緑地空間が創出され、周辺の文化施設や緑地と一体となった緑のオープンスペースとして、四季を通じていろいろなイベント、パフォーマンスが行われ、賑わいを見せています。



▲イベント



▲石川四高記念文化交流館